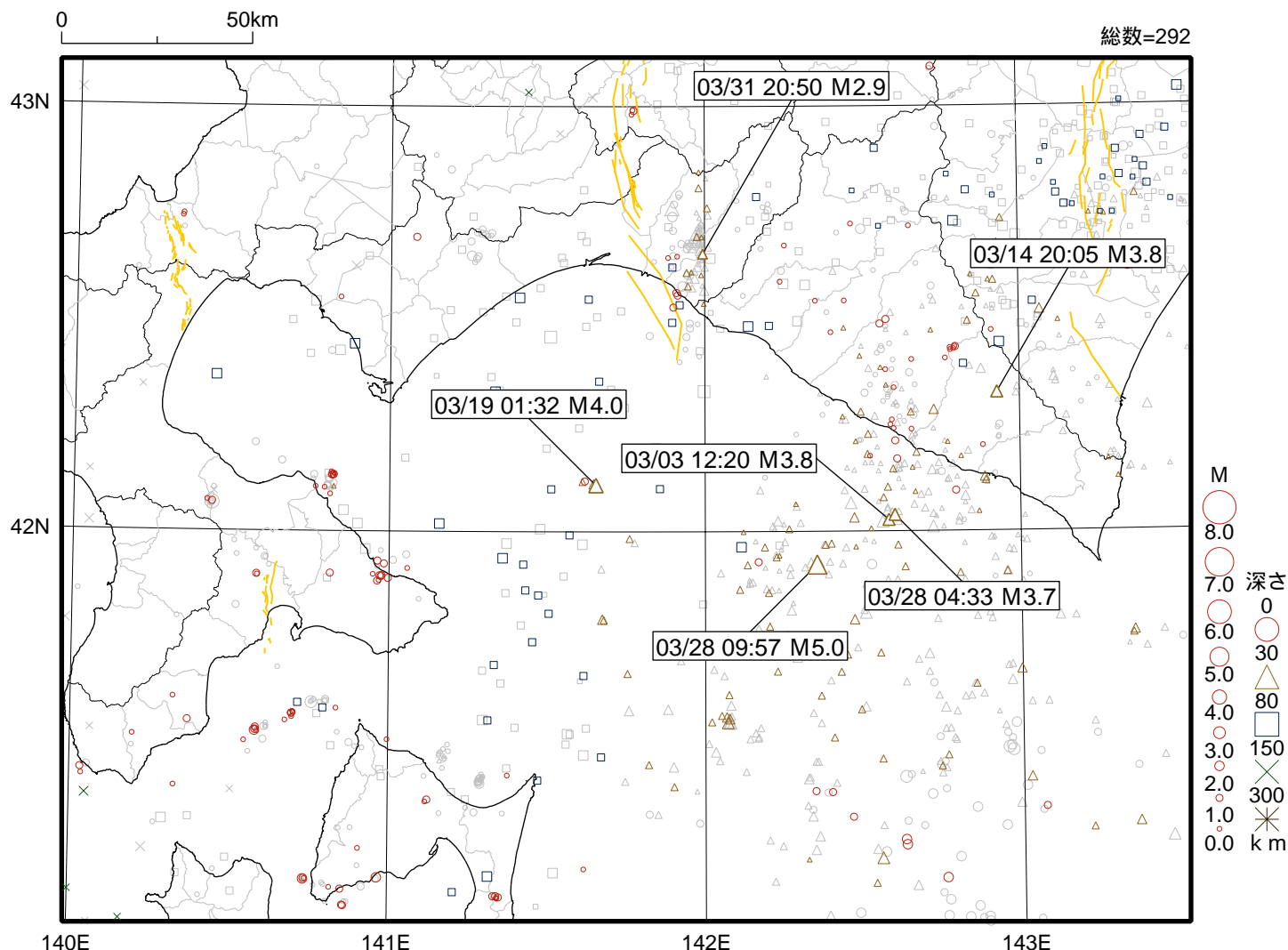


胆振・日高地方の地震活動図

2020年3月1日～2020年3月31日

震央分布図

室蘭地方気象台



これは暫定値であり、データは後日変更することがあります。

記号Mはマグニチュードを表します。

図中橙色の線は地震調査研究推進本部による主要活断層を表します。

過去の地震活動と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。

地震概況（2020年3月）

この期間、胆振・日高地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は7回（2月は4回）でした（「震度1以上を観測した地震の表」参照）。

28日09時57分、浦河沖の地震（M5.0、深さ70km）により、厚真町、安平町、むかわ町、新冠町、新ひだか町、浦河町で震度3を観測したほか、胆振・日高地方で震度2～1を観測しました。

31日20時50分、胆振地方中東部の地震（M2.9、深さ39km）により、苫小牧市、厚真町、安平町、むかわ町で震度1を観測しました。

「平成30年北海道胆振東部地震」の震源付近での地震発生数は緩やかに減少していますが、今後も現状程度の地震活動が当分続くと考えられます。期間内には、胆振・日高地方で震度1以上を観測した地震が1回（管内の最大震度 1：1回）発生しました。

「平成30年北海道胆振東部地震」の関連情報は、下記ポータルサイトをご覧ください。

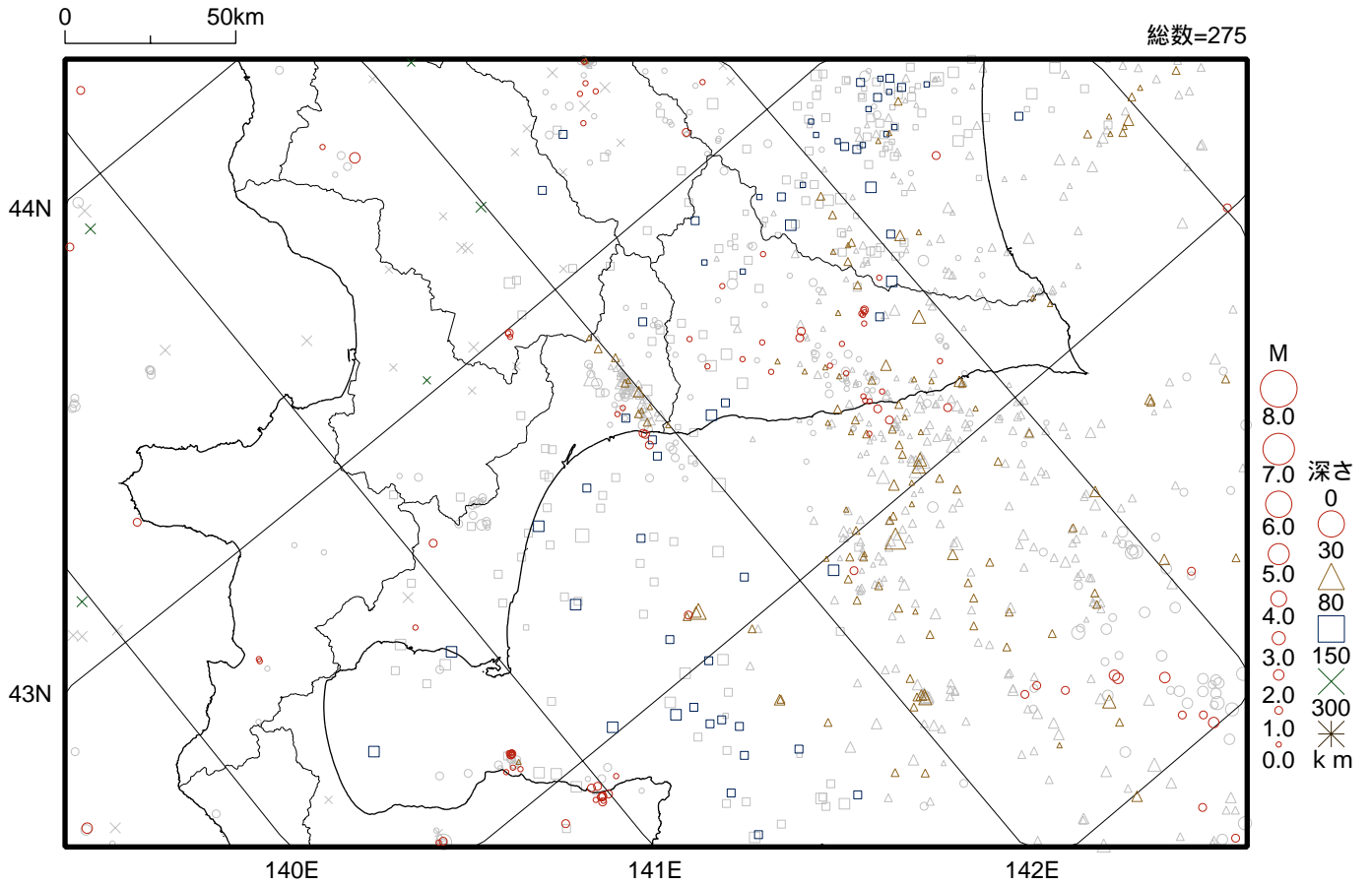
https://www.jma.go.jp/jma/menu/20180906_iburi_jishin_menu.html

この活動図は、室蘭地方気象台のホームページに掲載しておりますのでご利用ください。

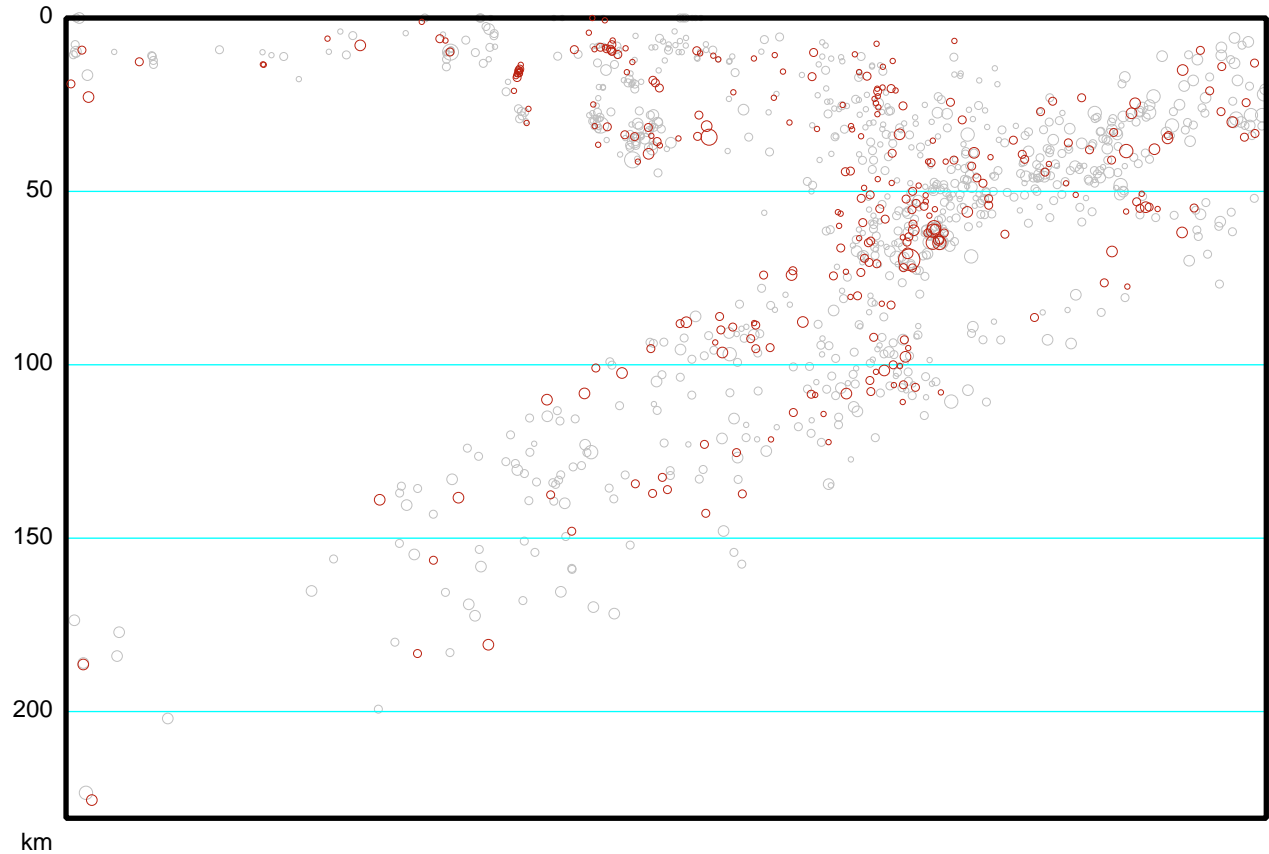
ホームページのアドレスは、「<https://www.jma-net.go.jp/muroran/>」です。

2020年3月1日 ~ 2020年3月31日

震央分布図



断面図



これは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
 記号Mはマグニチュードを表します。
 過去の地震活動と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。

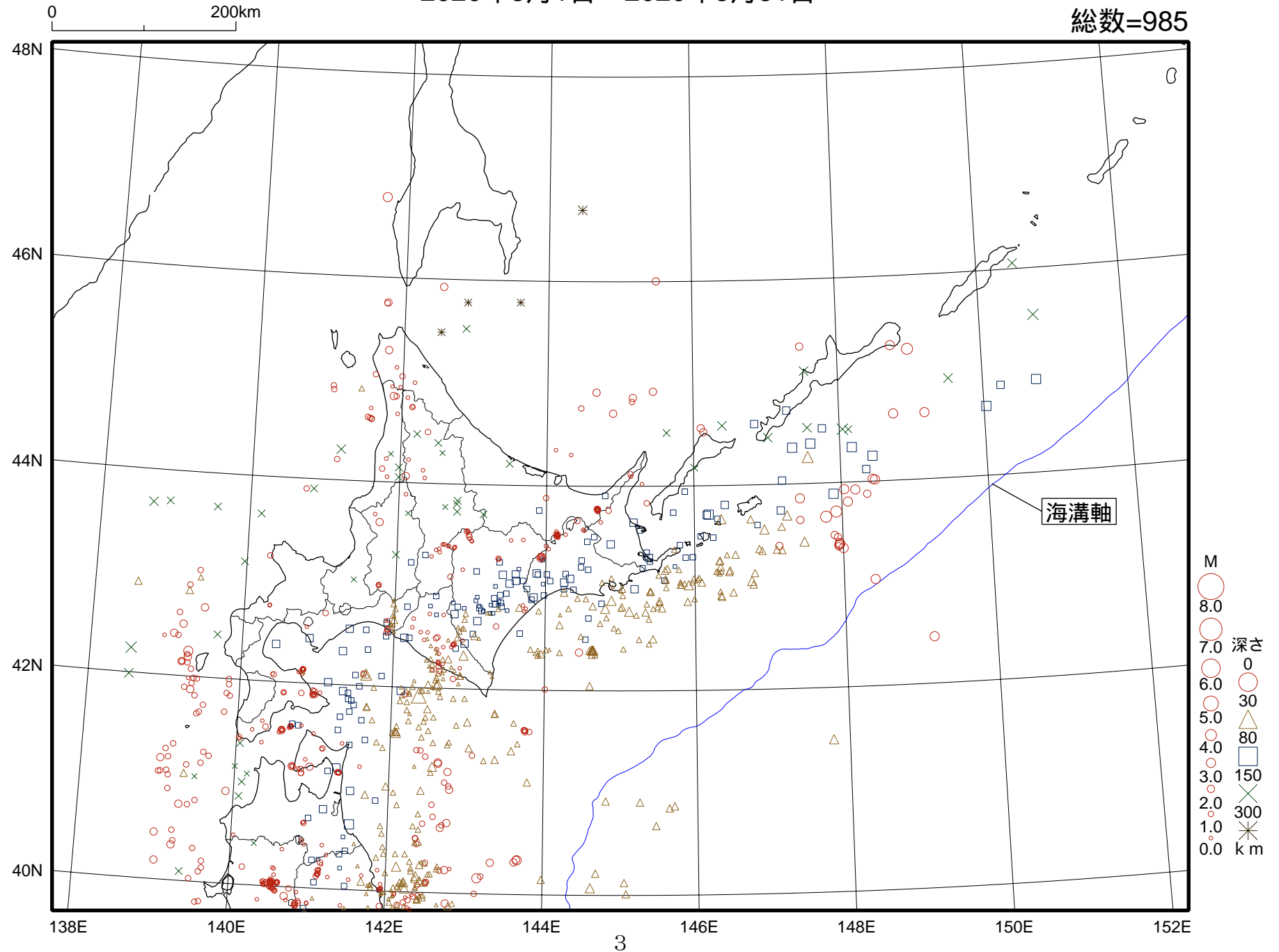
北海道の地震活動図

2020年3月1日 ~ 2020年3月31日

札幌管区気象台

震央分布図

総数=985



震度 1 以上を観測した地震の表 (2020年3月)

| 年 月 日 地方 | 時 分 震度 | 震央地名 震度観測点名 | 北緯 (N) | 東経 (E) | 深さ (km) | 規模 (M) |
|----------------------|------------------------|---|-----------|------------|---------|--------|
| 2020年 3月 3日 日高地方 | 12時20分 震度 1 | 浦河沖 新ひだか町静内山手町(08) 新ひだか町三石旭町*(10) | 42°01.6 N | 142°34.9 E | 65 km | M3.8 |
| 2020年 3月 14日 日高地方 | 20時05分 震度 1 | 日高地方東部 浦河町潮見(05) 浦河町築地*(06) | 42°19.5 N | 142°55.6 E | 61 km | M3.8 |
| 2020年 3月 18日 日高地方 | 00時10分 震度 1 | 北海道南西沖 浦河町潮見(10) 浦河町築地*(07) 様似町栄町*(05) | 42°14.4 N | 138°32.3 E | 237 km | M4.9 |
| 2020年 3月 19日 胆振地方 | 01時32分 震度 1 | 苫小牧沖 胆振伊達市大滝区本町*(06) 苫小牧市旭町*(08) 登別市鉱山(07) 登別市桜木町*(05) 白老町緑丘*(06) 安平町早来北進*(08) 安平町追分柏が丘*(09) | 42°06.5 N | 141°39.2 E | 34 km | M4.0 |
| 2020年 3月 28日 日高地方 | 04時33分 震度 1 | 浦河沖 新ひだか町静内山手町(06) 新ひだか町静内御幸町*(05) 新ひだか町三石旭町*(07) 浦河町野深(05) 浦河町築地*(05) | 42°02.3 N | 142°36.0 E | 60 km | M3.7 |
| 2020年 3月 28日 胆振地方 | 09時57分 震度 3 震度 2 | 浦河沖 厚真町鹿沼(32) 安平町追分柏が丘*(29) むかわ町松風*(34) 胆振伊達市梅本(16) 胆振伊達市大滝区本町*(22) 室蘭市寿町*(18) 苫小牧市末広町(18) 苫小牧市旭町*(18) 登別市鉱山(15) 登別市桜木町*(18) 白老町大町(17) 厚真町京町*(24) 安平町早来北進*(24) むかわ町穂別*(22) 豊浦町大岸*(07) 壮瞥町滝之町*(11) 洞爺湖町栄町*(14) 白老町緑丘*(13) 新冠町北星町*(31) 新ひだか町静内山手町(34) 新ひだか町静内御幸町*(29) 新ひだか町三石旭町*(29) 浦河町潮見(26) | 41°55.3 N | 142°21.2 E | 70 km | M5.0 |
| 日高地方 | 震度 1 震度 3 | 日高地方日高町門別*(24) 平取町振内*(22) 新ひだか町静内御園(21) 浦河町野深(19) 浦河町築地*(23) 様似町栄町*(24) えりも町えりも岬*(16) 日高地方日高町日高*(06) 平取町仁世宇(06) 平取町本町*(14) 新ひだか町静内農屋*(14) えりも町本町(06) えりも町目黒*(12) | | | | |
| 2020年 3月 31日 胆振地方 | 20時50分 震度 1 | 胆振地方中東部 苫小牧市旭町*(06) 厚真町鹿沼(06) 安平町早来北進*(07) 安平町追分柏が丘*(05) むかわ町穂別*(06) | 42°39.1 N | 141°59.6 E | 39 km | M2.9 |

各地の震度は、胆振・日高地方のみを掲載しています。

*のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

地震概況ではセントロイドの深さで表現した地震が含まれている場合があります。

震源の緯度、経度、深さ、規模は暫定値であり、データは後日変更することがあります。

()内の数値は0.1単位の詳細な震度(計測震度)の小数点を省略して表しています。

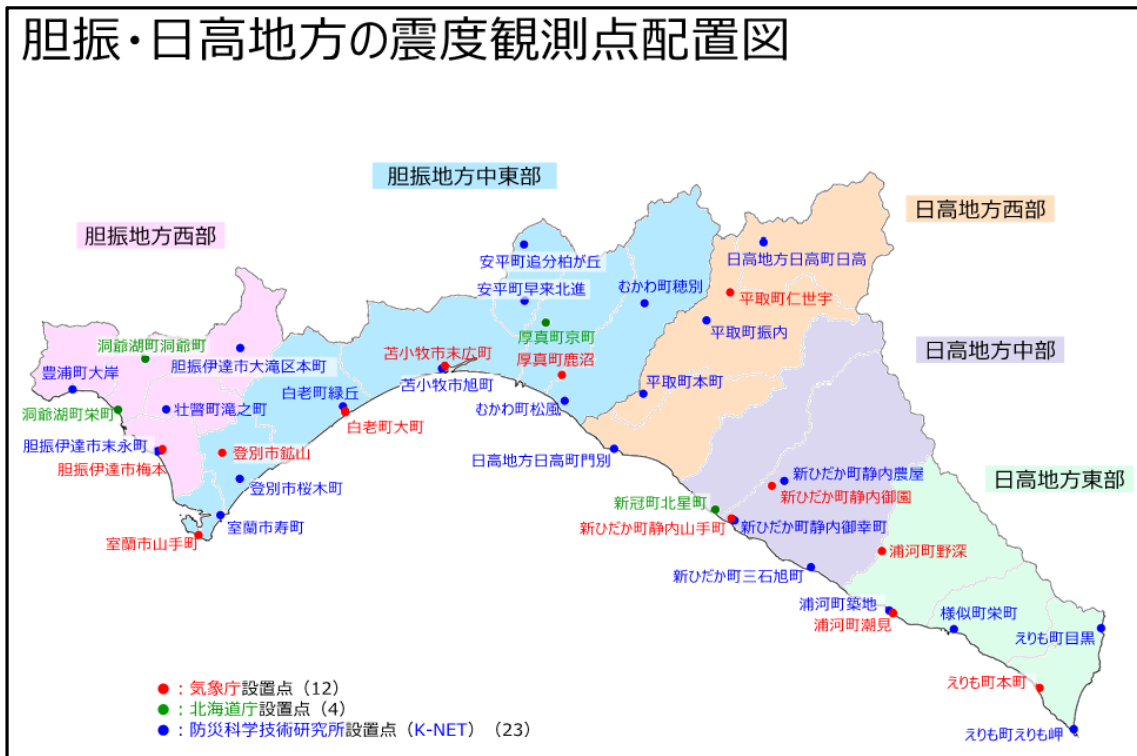
計測震度と震度階級の対応は下表のとおりになっています。

計測震度と震度階級の関係

| 計測震度 | ~0.4 | 0.5~1.4 | 1.5~2.4 | 2.5~3.4 | 3.5~4.4 | 4.5~4.9 | 5.0~5.4 | 5.5~5.9 | 6.0~6.4 | 6.5~ |
|------|------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|------|
| 震度階級 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5弱 | 5強 | 6弱 | 6強 | 7 |

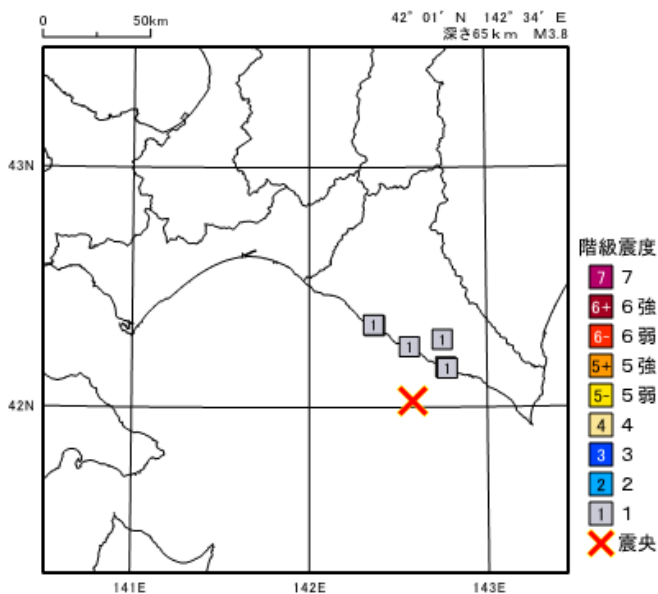
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

胆振・日高地方の震度観測点配置図

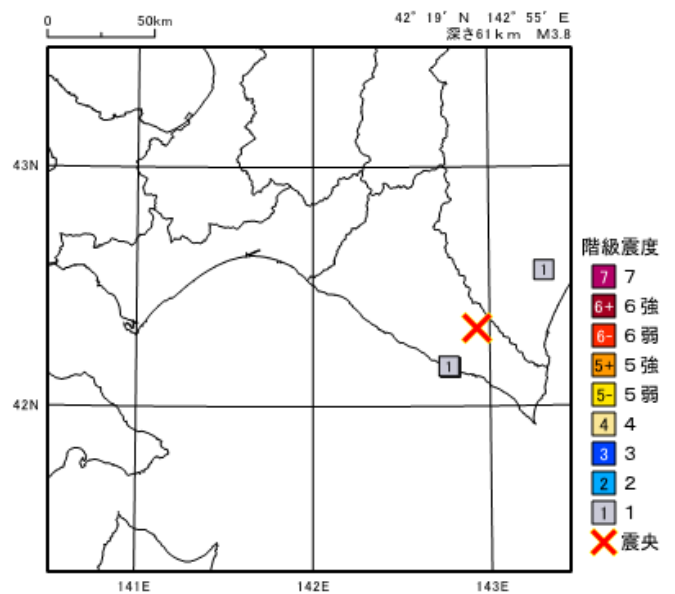


震度分布図 (胆振・日高地方で震度 1 以上を観測した地震)

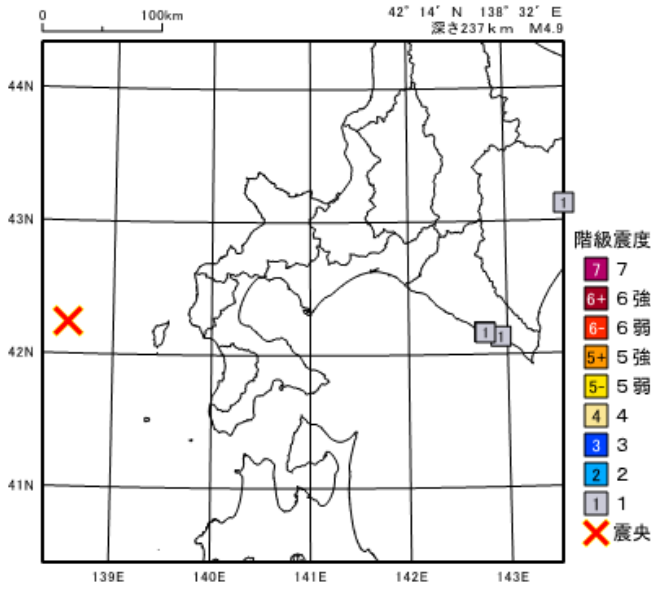
2020年 3月 3日 12時20分 浦河沖の地震の震度分布図



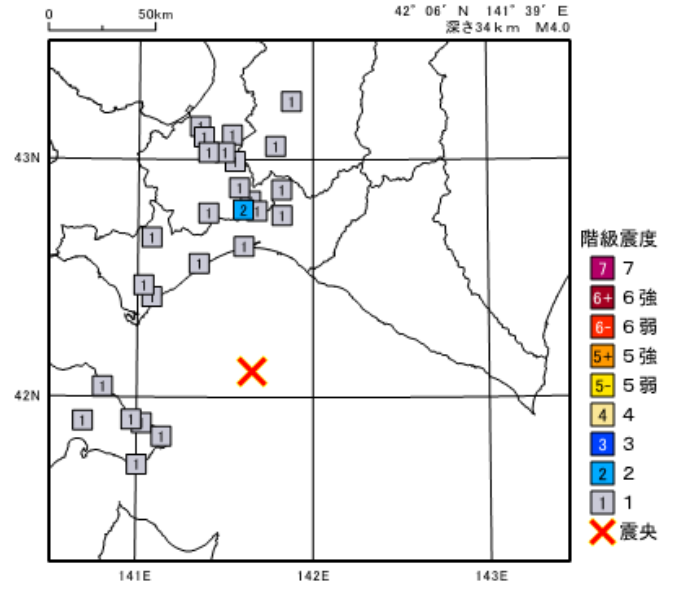
2020年 3月 14日 20時05分 日高地方東部の地震の震度分布図



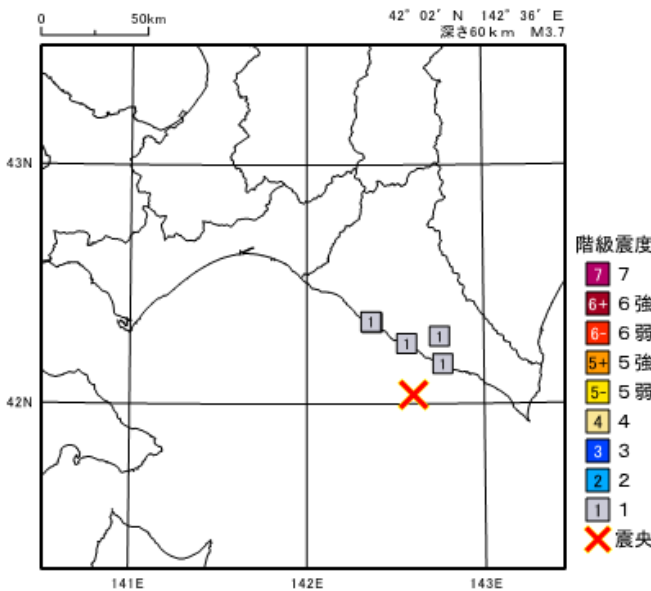
2020年 3月18日00時10分 北海道南西沖の地震の震度分布図



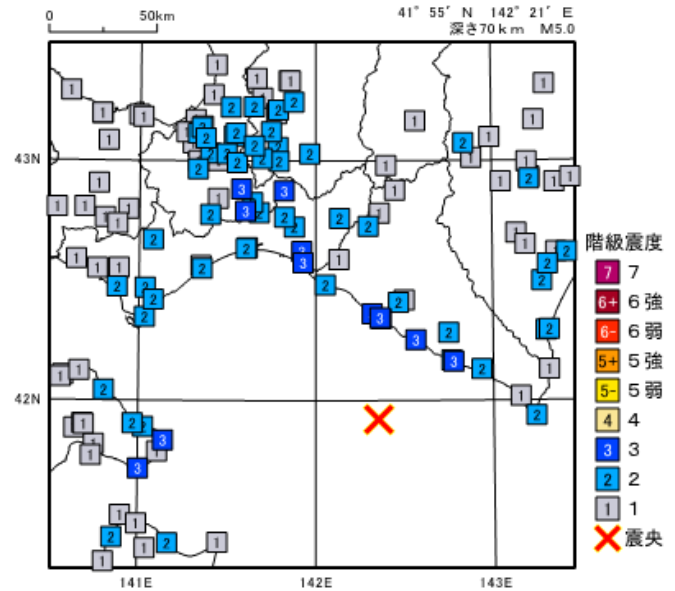
2020年 3月19日01時32分 苫小牧沖の地震の震度分布図



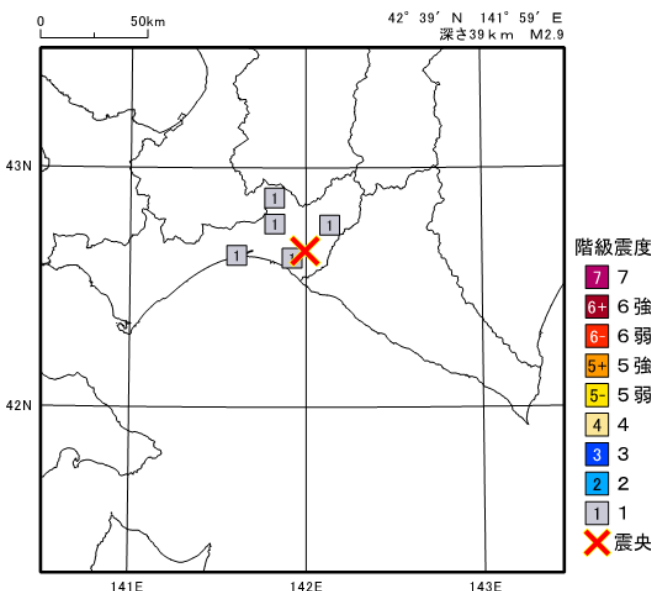
2020年 3月28日04時33分 浦河沖の地震の震度分布図



2020年 3月28日09時57分 浦河沖の地震の震度分布図



2020年 3月31日20時50分 胆振地方中東部の地震の震度分布図



【防災メモ】

～異常震域について～

一般的に、地震の揺れは震源に近い場所ほど強く、震源から遠い場所ほど弱くなります。しかし、深い場所で発生する地震（深発地震）では、震源に近い場所より遠く離れた太平洋側の場所の方が強く揺れる場合があります。

深発地震が発生すると、震源に近い真上には、地震波が減衰しやすい領域を通るために揺れが弱まって伝わる一方で、太平洋側には、地震波が減衰しにくい海洋プレートを通るために揺れがあまり弱まらずに伝わります。その結果、震源に近い場所よりも遠く離れた太平洋側で震度が大きくなり、このことを「異常震域」と呼びます（図1）。

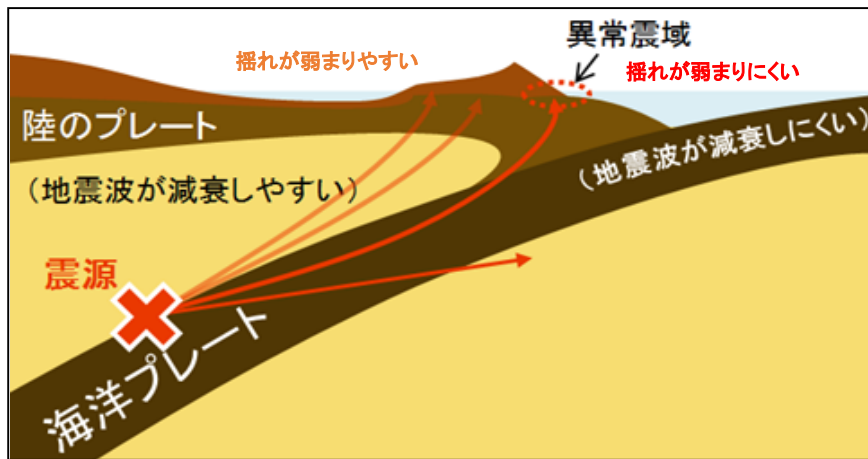
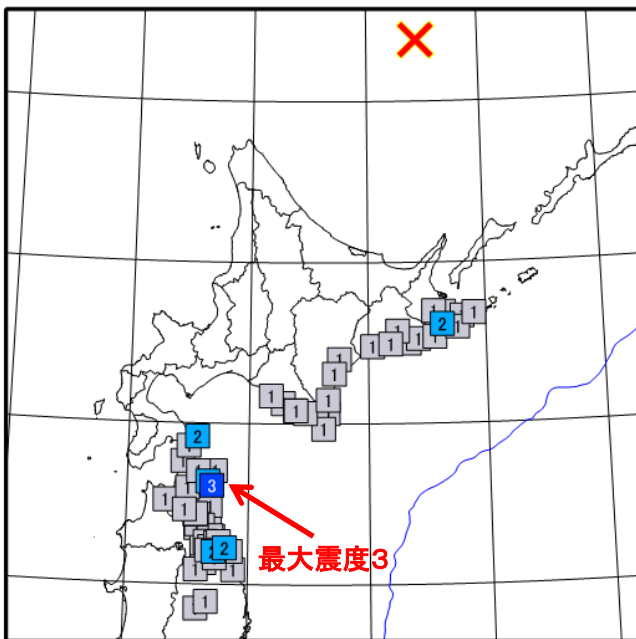
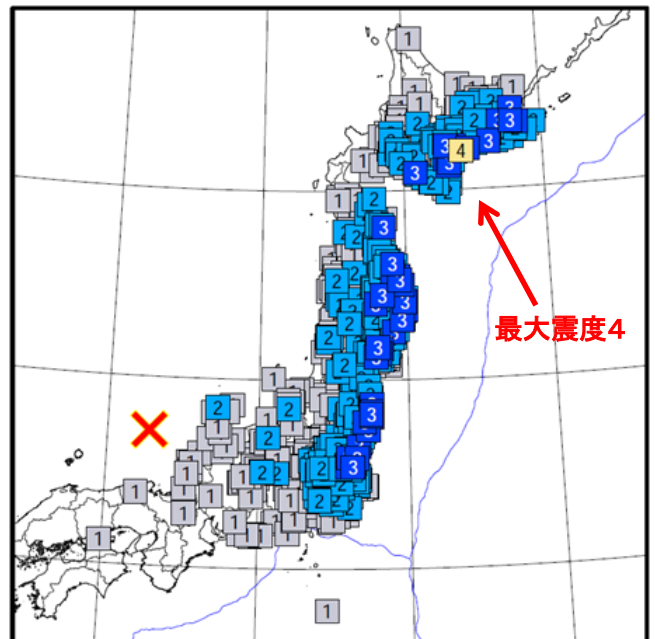


図1 異常震域模式図

例えば、オホーツク海南部の地震（深さ 431km）により北海道と東北地方の太平洋側のみで震度 1 以上を観測した事例や、京都府沖の地震（深さ 374km）により北海道の浦幌町で最大震度 4 を観測したほか、北海道から関東地方にかけての太平洋側で震度 3 以上の揺れを観測した事例があります（図2）。



オホーツク海南部の地震の震度分布図
(2011年12月10日 M5.7 深さ431km)



京都府沖の地震の震度分布図
(2007年7月16日 M6.7 深さ374km)

図2 異常震域の例（×印は震央、数字は震度を示す）